
World 1 NaturuDragon

ぽよ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

World 1 NaturuDragon

【Nコード】

N9468Z

【作者名】

ぼよ

【あらすじ】

みんなが住んでいる星から遙か遠く、光でさえも片道50億年かかる。

そんな場所に13個の世界が存在します。

獣が言葉を喋り

ヒトが君達と違う文明を築き

見たことも無いような生き物が住んでいたり。

少し見てみませんか？

見たければ、このページをめくってください。

嘘のような世界を見せてあげましょう。

エブリスタでも同じタイトルで同じ物を書いています。

chapter 0 Alternative route

まずはじめに。

今から見せるこの世界は、自然を司る四匹の竜が頂点に君臨している。

世界の名前は
通称。

World 1 "NaturDragon"

改ページ

雲一つ無い、どこまでも広く澄みきった空は、自由と育みを感じさせ、南を通過して間もない太陽をより映えさせた。

お昼時である。

恒例とでも言うべきか、普段通り世間話に花を咲かせているご婦人の方々は、家で腹をすかせている子供達の事を忘れていたようだ。

どうやら近くのスーパーで安売りしてるらしい、ちなみに店長が若くてカッコ良かったらしい、どうでもいい。

話は盛り上がるが、立ち話は疲れたようで喫茶店へと足が向いていた。

スーパーに行った理由は思い出せないのだろう。

ご婦人達は、笑顔で話をしながら喫茶店へと入っていく。

お留守番は空腹を抱えた状態での三時間勤務になり、買い出しの任務には二時間の有休が与えられた。改ページ

ようやく、世間話が途絶えた。

と言っても彼女らが場所を移しただけなのだが。

やはり扉の向こうでは、今頃新しく引越してきた夫婦の情報でも集めているのだろう。

女という生き物が、噂好きな先入観はなかなかどうして拭いきれない。

閑話休題。

辺りに風が吹く音さえうるさく聞こえる。

誰もいなくなったここに残された音は、寂しさを主張しているかのような、小動物の足音と風の音のみ。

仲間を求めて小動物が鳴く。

しかしそれは風にかき消され、何度鳴いても何も起こらないため、やがて鳴くのもやめてしまった。

更に風はやみ、小動物も諦めたらしくどこかへ向かう。

無音。

無音が続く。

靴の音はもちろん、心臓の音さえハッキリと聞き取れそうだ。改ペー
ー

説明が遅れたが、ここはとある学校の裏門付近の通路で、町からか

なり離れたところにある。

当然そんな外れまで来る者はごくわずかで、先程のご婦人の方々も喫茶店が無ければまず来ないだろう。

そのような場所に喫茶店を立てたのは味に自信があるから、とは風の噂で聞いたもの。

お昼時の話題にされるくらい静かな通路なのだ。

そしてそんな場所を見ている私は・・・おっとターゲットが来たよ
うだ。

何を隠そう今の私は骨トカゲから景色を覗いてる傍観者にすぎない。

ターゲットには気づかれないうっかり尾行しないと。

骨トカゲなんて聞いたこと無い？

まあいざれ分かるぞ。

前置きは随分長くなったが。

やっとおよそ原稿200枚程に及ぶ、私の仕事がスタートした。改ページ

話を戻そう。

まずターゲットと言うのは、たった今学校から脱走し、辺りを忙しくなく見回している赤髪の少年。

彼の名はビル。

あだ名で呼ばれる事に憧れているが、捻りようのない名前のためそのままビルと呼ばれている。

目が覚めるような赤髪のビルは今年で齡15となるが、性格に関しては活発で調子乗り、どこにでもいるムードメーカーを想像してくれば早い。

赤髪の少年と言ったが、外見について少し触れておこう。

まず髪型は獅子、ライオンのごとく。

前髪は適当にわけているので、その無邪気な顔は良く見えるが、長いため輪郭を隠しそうな勢いだ。

次に目、これまた赤く熱を感じさせる。

常に遠くを見据えているような赤い瞳は、彼の長い赤髪よりも鮮やかで、その目に何を写しているのか、危うささえ感じた。

口は固く閉じている。

別に寡黙と言う意味ではなく、ただ単に声を出すと脱走がバレるか
らだ。

普段は、寧ろ喧騒の中心に居ると言っても過言ではないどころか、
そのまんまである。

改ページ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9468z/>

World 1 NaturuDragon

2011年12月29日17時49分発行